

議会だより

謹賀新年



本年もよろしくお願ひ申し上げます

新春の朝の風景

もくじ

町長の所信表明に対する代表質問 P 2	開会中の常任委員会…………… P 6
10月臨時議会・	一般質問…………… P 9
12月定例会本会議審査 …… P 4	議員全員協議会・
補正予算審査特別委員会… P 5	閉会中の常任委員会…………… P 18



町長の施政方針に対する代表質問

※町長施政方針は広報ゆざわ 12月26日号をご覧ください。



文教常任委員会



代表質問者
白井孝雄



Q 企業誘致について、今後も見込みのある案件はあるのか。「町の資源や環境にマッチする企業の誘致」とは、どのようなことを考えているのか。

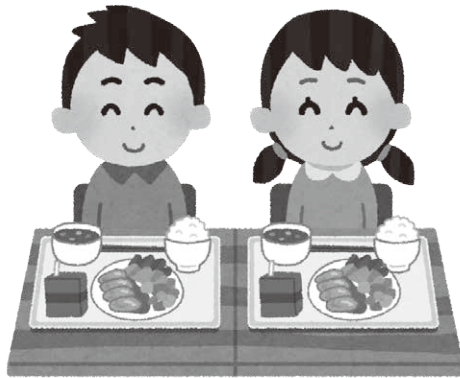
A 湯沢の強みは、豊かな自然と便利な交通体系である。具体的な案件はないが、テレワークの拠点としても良い町だと考えている。

Q 「移住定住のニーズ」とは、どのようなことか。湯沢町出身者のUターン促進に特化した施策も必要なのではないか。

A 移住に必要な住居、子育て環境、補助金などの情報を出していくことが必要。

また、湯沢で働くことができる場所を増やしていくことも必要である。

Q 考え方はいろいろあると思うが、無償化賛成の意見も多数あった。また、第1子無償化も早急に実施すべき、という意見もある。町長の考えは。



Q 給食費は材料費相当分を保護者が負担しているものと思うが、給食費の無償化と受益者負担について、どのように考えているのか。

A 全国で3割の自治体が無償化をしている。子育て支援を町全体で考えていきたい。来年度から第2子以降の無償化を進めたい。

A 財源をしっかりと確保したうえで、早期に実現したい。

Q 防災ラジオの配布促進のほか、災害時の情報伝達手段として、新たに導入を検討しているものはあるのか。

A ラインアプリを進めていく。どんな状況になろうが取り残される人が出ないようにし、町民の生命と財産を守っていきたい。

Q 「財政計画を立てて町政運営を行っていく必要がある」とある。早期に計画を策定する必要があると考えるが、どのように取り組んでいくのか。

A 公共施設の維持管理が課題となってくる。中長期的計画を立て、しっかり取り組んでいく。

Q 「ふるさと納税倍増計画」とは、どのようなことを考えているのか。

A 現在の約5億円から10億円にしていきたい。現在の体制のままでは限界があるが、ポータルサイトを増やしていきたい。

生活福祉常任委員会



代表質問者
佐藤守正



Q 高齢者の移動支援策は。

A 福祉バスや高齢者等運賃助成制度は継続する。また、自分自身のみでは移動が困難な高齢者に向けて、有償ボランティアを活用した外出サポート支援の体制を、新たに準備している。

Q 町の介護施設では介護職員が足りないため、提供するサービスを制限し、受け入れ人数を減らしているところがあるが、打開策は。

A 介護人材を確保するために、町内介護施設への就職を希望する方には資格取得にかかる費用を全額支給するほか、新たに就職を希望する方へ20万円を支給する介護人材就職支援金支給事業をすでに実施し、来年度も継続する予定である。

Q 国は病床削減の要請を湯沢病院に対しても行なっているが、その対応は。

A 国は急性期の病床を削減して、不足する回復期・慢性期の病床に転換することを狙っているのだが、湯沢病院ではすでに回復期対応の地域包括ケア病棟への転換を済ませているので、その後は国からの病床削減の要請は届いていない。



湯沢町保健医療センター

Q 今後のワクチン接種の予定は。

A これまでの接種の機会を逃した方へ、1月・2月にかけて集団接種を実施する予定で、現在予約を受け

付けている。また60歳未満の未接種者へは個別に案内を出している。3回目の接種も湯沢病院で実施するが、降雪期を避けて3月以降になる。

Q 新型コロナウイルス不況の中で町民税滞納者への対応は。

A 新型コロナウイルス感染拡大で収入が減少している納税者にとっては大変な状況だと推測するが、皆さまの協力により、新型コロナウイルスス禍の影響が出る前の令和元年度の徴収率を上回る成績を上げている。

**産業建設
常任委員会**



代表質問者
高橋 政 喜



Q 「逆境の今こそ、行政と民間が力を合わせてピンチをチャンスに変え、500万人観光を目指す」とあるが、500万人観光を目指すための新たな取り組みは。

A 現在、策定作業を進めている観光振興計画に沿って着実に観光施策を進め、500万人観光を目指す。

Q 観光の町湯沢のDMOとして、湯沢町観光まちづくり機構が担う役割は、どんなものを想定しているか。

A DMOは、地域の稼ぐ力を引き出すための舵取り役として、多様な関係者と共同しながら明確なコンセプトに基づき、観光地域づくりを実現するための戦略を策定して実行していく法人。各種データ等の収集、関係者の合意形成と戦略の調整等を行う。持続可能な組織であるためには、財源の確保も重要。

町として補助金の支出だけでなく、業務の委託等により法人自体が稼ぐ力をつける手伝いをする。

Q 「湯沢で作られる農産品のブランド化」、どのような作物をブランド化するのか。

A 今年度、JAを通じて出荷された農産物は10品目。全体の出荷量は把握できない。

湯沢産コシヒカリは単独でブランド化が可能。作付の拡大や、湯沢産であることをアピールして地元での消費拡大を図りたい。

Q 「温泉通りの景観整備」、店舗等修景整備補助金の有効活用を進め方は。

A 新型コロナウイルスによる影響



温泉通り

等もあり、なかなか活用されていない。委員会から意見を聞くなど、活用が図られるよう進める。

Q 「観光振興と農業の連携」、どのような連携か。

A 農業体験と宿泊、ミニトマトの収穫体験などがある。地元産農産物の流通を増やし、観光客にも喜んでいただきたい。

Q 清津川の官民間の境界問題、今後の取り組みは。

A 国・県と情報を共有し、連携して対応したい。

10月臨時議会

10月20日



議員辞職の報告

令和3年9月30日付で岸野雅人議員が辞職。

総務文教常任委員長互選の報告

10月18日開催の総務文教常任委員会で、互選により宮田眞理子委員を委員長と決定。

議会運営委員会委員の指名

欠員が生じていた議会運営委員会委員に、宮田眞理子総務文教常任委員長を指名。

各種委員会等委員の選任・推薦

欠員が生じていた南魚沼地域広域計画協議会委員、南魚沼市消防協議会委員に、宮田眞理子議員を指名。

湯沢町青少年問題協議会委員に、佐藤守正議員を推薦。

議案 令和3年度一般会計補正予算(第8号)

予算(第8号)

歳入歳出それぞれ9,343万3,000円を追加し、予算の総額を82億5,631万8,000円とする。

主に、**冬季経済対策(※)**として行うリフト券の割引事業、観光まちづくり機構の運営支援補助金の増額のための予算を計上。

賛成全員 ↓ 可決

冬季経済対策(※)の概要

①リフト券割引事業 (5,550万円)

新潟県が行うリフト券の割引では、1月～2月の販売が休止となる。予算措置を行い、割引リフト券の販売を継続する。

②共通リフト券発行及びシャトルバス実証運行 (2,000万円)

新潟県の補助制度も活用しながら、町内全スキー場が参画する共通リフト券発行事業及びシャトルバスの実証運行を行う。苗場から、湯沢土樽、湯沢・神立地区の3エリアのシャトルバスを連携させる。

③冬季総合プロモーション事業 (500万円)

共通リフト券やシャトルバスの実証運行、割引リフト券の追加販売など、シーズン当初からプロモーションを途切れず実施して誘客を図る。

④事業継続支援 (950万円)

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、打撃を受けている観光関連事業者を支援するため、(一社)湯沢町観光まちづくり機構の会員会費相当分を町が負担する。

12月定例会本会議審査

12月14日

常任委員選任の報告

高波大吾議員を総務文教、生活福祉、議会広報の各常任委員会の委員に選任。



専決処分 令和3年度一般会計補正予算(第9号)

歳入歳出予算に4,840万円を追加し、総額を83億471万8,000円とする。

18歳までのこどもに一人当たり10万円を給付する事業のうち、5万円の現金給付のための予算を計上。

賛成全員 ↓ 承認

議案 旧布場スキー場斜面崩落復旧工事請負契約の締結

契約者 (株)林組

協定金額 5,698万円

賛成全員 ↓ 可決

議案 越後湯沢駅東口エレベーター設置工事に関する協定の締結

締結

協定者 東日本旅客鉄道(株)
協定金額 2億5,124万円

賛成全員 ↓ 可決

12月20日

議案 令和3年度一般会計補正予算(第11号)

歳入歳出予算に4,881万9,000円を追加し、総額を85億1,831万2,000円とする。

18歳までのこどもに一人当たり10万円を給付する事業のうち、追加で5万円を現金で給付するための予算。県の補助事業により、生活困窮世帯の灯油購入費を助成するための予算を計上。

賛成全員 ↓ 可決



旧布場スキー場斜面崩落箇所

令和
3年度

一般会計補正予算審査 特別委員会

12月14日



委員長
並木利彦

第10号

歳入歳出予算に
1億6,477万5,000円を追加し、
総額を84億6,949万3,000円とする

賛成全員 → 可決すべき

歳入	
老人保護施設入所費負担金	102万円
国庫支出金(新型コロナワクチン追加接種他)	4,331万円
県支出金	615万円
ふるさと納税	1億5,000万円
財政調整基金繰入金	△ 9,343万円
湯沢こころのふるさと基金繰入金	4,500万円
町債(可燃ごみ処理施設改修)	1,270万円
その他	3万円

歳出

財政調整基金積立金	△ 1億3,881万円
湯沢こころのふるさと基金事業	2億1,051万円
情報化推進費	1,865万円
老人施設等入所費	349万円
総合福祉センター・健康増進施設維持費負担金	367万円
児童手当法改正対応システム改修	141万円
予防接種事業(新型コロナワクチン追加接種等)	3,989万円
健康管理システム改修(検診)	290万円
公衆浴場指定管理料	2,347万円
体験工房大源太指定管理料	300万円
信用保証料補給金	100万円
道路橋梁修繕料	400万円
中央公園指定管理料	1,100万円
湯沢西地区道路美装化	300万円
店舗等修景整備補助金	△ 300万円
湯沢学園冷房、校内LAN工事	△ 158万円
その他	△ 1,782万円

主な質疑

Q 3回目のワクチン接種の予約は、接種日を指定したらどうか。

A 事前の予約が必要となる。高齢者の集団接種は指定日を検討している。

Q 起業型地域おこし協力隊の追加募集を1月に行うが、募集時期の定めはないのか。

A 時期に制限はない。

Q 公衆浴場は、収支の改善しない施設について現在どのような検討が行われているのか。

A 今後予定される大規模修繕と収益の見込み等、各浴場の状況を整理して検討する。地域にとって重要な施設であり、すぐに結論を出すことは難しい。

Q 地域おこし協力隊が、町に定着しないようだが。

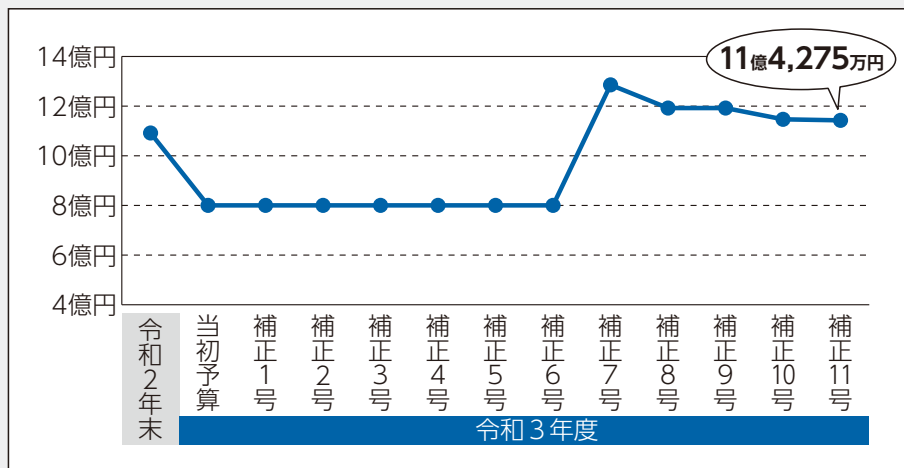
A 今回の補正予算は起業型であり、隊員が自ら起業を目指すものであるため、定住に結びつきやすいと考えている。今年度採用した2名は現在も町内で活動している。

他の協力隊にも、任期が終わってからも定住してほしいと思っているが、家族の都合など、やむを得ない事情で転出していく事例がある。

今後は、任期終了後の計画についても面接の際に審査し、採用していきたい。

財政調整基金残高見込額の推移

財政調整基金とは、年度間の財源の変動に備えて積み立てる基金です。支出に対して収入が不足する場合は基金から繰り入れ、決算による剰余金など財源に余裕がある場合は基金に積み立てます。



開会中の常任委員会審査

12月15日

総務文教常任委員会

委員長 宮田眞理子

議案 湯沢町教職員住宅管理及び使用料条例の一部改正

大野原D棟の28,000円を22,000円に、大野原E棟の37,000円を30,000円に改める。D棟はRC造12戸建て築29年・入居率33%、E棟もRC造6戸建て築28年・入居率50%である。

資金委託教職員住宅のため、償還期間20年は使用料の変更ができなかった。償還期間後もそのままであり、老朽化が進んできたため使用料を見直すものである。

Q いろいろな方々に話を聞くと、わざわざ南魚沼市にアパートを借りているということが残念である。もっと考えていかなければならない。

A ぜひ住みたいという魅力を見いだしていきたい。

Q 老朽化が進み、住めないところがあると聞いたが。

A C棟は来年度解体の予定。

Q 教職員には地元において、地域や子どもたちと交流いただきたい。

A 今の時代、教員住宅を強制できない。指導も難しい。

賛成全員 ↓ 可決すべき



教職員住宅

議案 湯沢町企業版ふるさと納税基金条例の制定

企業の寄付に対する控除制度で、対象は自治体が策定した地方版総合戦略に位置付けられ、内閣府に「地域再生計画」の認定を受けなければならず、計画の名称は【湯沢町まち・ひと・しごと創生推進計画】である。

自治体への寄付は損金3割控除されるが、企業版ふるさと納税の場合、法人関係税等最大6割が控除され、

あわせて最大9割の税の軽減となる。寄付上限は事業費の範囲内で、下限は10万円である。事業は湯沢町総合戦略推進事業の6項目。

Q 企業の業種想定は。

A 具体的な企業の当てはないが、ポータルサイトなどを活用して広くアピールしていきたい。

Q 他の自治体でうまくいっているところはあるか。

A 目標値に近いところもあれば、いろいろである。来年度着工の子育て支援施設に使いたいと目標にしている。

請願 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1

復元に係る意見書の採択を求める請願

長期化する新型コロナウイルス危機の中で、営業自粛による経営危機や解雇などにより、食糧を講じるままならないなど困窮する人々に対して、食料を支援する施策を講じることを求める。

賛成全員 ↓ 採択すべき

請願 「年齢計算ニ関スル法律」の改正についての意見書の提出を求める請願

賛成全員 ↓ 採択すべき

生活福祉常任委員会

委員長 高橋政喜

議案 湯沢町国民健康保険条例の一部改正

国民健康保険運営協議会委員に、被用者保険の代表者を加えることができるようにすること及び出産育児一時金について改めるもの。

賛成全員 ↓ 可決すべき

議案 令和3年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算に135万1,000円を追加し、総額を11億2,092万1,000円とする。

保険税軽減者数の確定による一般会計繰入金が増。検診受診者の減等による交付金償還金の増。

賛成全員 ↓ 可決すべき

議案 令和3年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算に129万円を追加し、総額を1億1,605万9,000円とする。

軽減対象者の確定による納付金の増額。

賛成全員 ↓ 可決すべき

議案 令和3年度介護保険特別
会計補正予算(第3号)

歳入歳出予算に230万4,000円を追加し、総額を9億6,648万1,000円とする。給付費の増などによる。

Q 介護スタッフが足りないために、利用者を制限しているデイサービスがあると聞かす。

A 人員不足で利用者の受け入れを制限している事業所もある。町外の事業所で受け入れができるよう南魚沼市と協議し、待機者が生じないよう対応している。

賛成全員 ↓ 可決すべき

議案 令和3年度病院事業会計
補正予算(第2号)

収益的支出の給与費を5万4,000円増額する。

賛成全員 ↓ 可決すべき

陳情 ウィグル等の人権侵害問題
に対して国に調査を求める

意見書採択の陳情

賛成全員 ↓ 採択すべき

産業建設常任委員会

委員長 田村計久

議案 山鳥原公園条例の一部改正

平標登山口駐車場はこれまで冬期間は閉鎖していたが、降雪期に登山者やバックカントリースキーヤーの駐車場がないために国道に路上駐車され、除雪作業等の障害となっていた。

今冬から除雪をして駐車場の利用を開始するために、冬季駐車料金を定められるよう、上限額を600円から1,000円に改正するもの。冬期間料金を1,000円とし、夏期料金は600円とする。条例にあるテニスコート廃止、利用料金を削除するもの。

賛成全員 ↓ 可決すべき



平標登山口駐車場

議案 令和3年度下水道特別会
計補正予算(第2号)

主なものとして、道路占用等徴収条例の改定により単価が上がったため、污水管路埋設土地借上料が公共下水道分で9万円、特定環境保全公共下水道分で3万円増額し、汚水量減少による光熱水費22万円減額し、プリンター購入費として10万円増額した。

賛成全員 ↓ 可決すべき

陳情 三俣大島地区の赤道復元
及び付替の不備における陳情

赤道を復元して町道に付け替える手続きが不完全なため、公正図において我々の所有する土地の筆境がなくなり、財産権の不当な侵害となっている。

問題解決のため、町長及び関係部署に働きかけのお願い。

※町担当課より経過と状況について説明を受けた。清津川の右岸、左岸の湯沢砂防による河川改修と申し出の官民界の確定を進めるため、話し合いを進める意向との説明。

賛成全員 ↓ 採択すべき

陳情 新型コロナウイルス禍で
の米価下落対策と生活困窮者
への食料支援策を講じ、食料
自給率の向上を求める意見書
の提出についての陳情

意見書趣旨

①新型コロナウイルスの影響で生じたコメ過剰在庫について、備蓄米買入枠の拡大等で市場隔離を行うこと。また、新型コロナウイルス禍における生活困窮者や学生、子ども食堂、フードバンクへの国産米提供等による支援の拡充を図ること。

②食の安全、安心、安定供給のため、国連が推進する「家族農業の10年」を成功させる農政を確立し、食料自給率の向上を目指すこと。

③学校給食に地元産の安全なコメを提供するとともに、給食の無償化を実施すること。

④農業者個別所得補償制度を復活すること。

⑤輸入農畜産物について、残留農薬検査を徹底し、農薬の残留基準を超過する農畜産物が市場や加工食品等に流通しないよう対策を講じること。

賛成全員 ↓ 採択すべき

議員表決結果報告

令和3年12月定例議会

- ・採決結果の記載方法 (可=賛成多数で可決・採択等の場合：否=賛成少数で否決・不採択等の場合)
- ・表決結果の記載方法 (議員個々の賛否：賛成=○・反対=×・欠席=欠)：議長は採決に参加できません

提出者	議案名	採決結果	高波大吾	渡辺千恵	和田一郎	南雲好幸	並木利彦	高橋政喜	関忠夫	宮田眞理子	田村計久	佐藤守正	白井孝雄	
10月臨時会	町長提出 令和3年度一般会計補正予算 (第8号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
12月定例会	町長提出	令和3年度一般会計補正予算 (第9号) の専決処分の承認	可	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	
		湯沢町企業版ふるさと納税基金条例の制定	可	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	
		湯沢町国民健康保険条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	
		山鳥原公園条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	
		湯沢町教職員住宅管理及び使用料条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	
		旧布場スキー場斜面崩落復旧工事請負契約の締結	可	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	
		越後湯沢駅東口エレベーター設置工事に関する協定の締結	可	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	
		令和3年度一般会計補正予算 (第10号)	可	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	
		令和3年度国民健康保険特別会計補正予算 (第2号)	可	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	
		令和3年度後期高齢者医療特別会計補正予算 (第2号)	可	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	
		令和3年度介護保険特別会計補正予算 (第3号)	可	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	
		令和3年度下水道特別会計補正予算 (第2号)	可	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	
		令和3年度病院事業会計補正予算 (第2号)	可	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	
		令和3年度一般会計補正予算 (第11号)	可	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	
		中央公園の指定管理者の指定	可	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	
		大源太キャニオン青少年旅行村の指定管理者の指定	可	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	
		議員発議	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書	可	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
			「年齢計算ニ関スル法律」の改正についての意見書	可	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
新型コロナウイルス禍での米価下落対策と生活困窮者への食料支援策を講じ、食料自給率の向上を求める意見書	可		○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○		
ウイグル等の人権侵害問題に対して国に調査を求める意見書	可		○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○		
請願・陳情	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の採択を求める請願	可	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○		
	「年齢計算ニ関スル法律」の改正についての意見書の提出を求める請願	可	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○		
	三俣大島地区の赤道復元及び付替の不備における陳情	可	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○		
	新型コロナウイルス禍での米価下落対策と生活困窮者への食料支援策を講じ、食料自給率の向上を求める意見書の提出についての陳情	可	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○		
	ウイグル等の人権侵害問題に対し国に調査を求める意見書採択の陳情	可	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○		

※高波大吾議員は11月29日からの就任です。



Q 2期目の約束、 童画館建設はどうした

高橋 政喜 (文責)



A 環境整備が整わなかった

「直面する課題がある」とは

質問 湯沢町の将来、どのような夢を描いているのか。

「皆さまと共に私の経験の全てをかけて、前を向いてひたすらに頑張る」とは。

答弁 町に明るさと活気を取り戻し、総合計画に掲げた目指す将来像「君と一緒に暮らす町」にあつて、現実を直視し官民一体となって課題を解決する。

「湯沢を信じ、とりもどす」とは

質問 「新型コロナウイルス禍で人心も地域経済も疲弊した。だからこそ湯沢の出番だ。湯沢の力II湯沢のプライドとブランド」とあるが。

答弁 プライドとは観光の町湯沢の誇りであり、ブランドとは湯沢の持つ価値であり力である。

「子どもはまちの宝」とは

質問 「給食費の完全無償化を目指す、子育てに優しいまちづくりを進める」とあるが、無償化は何歳までか。

一律完全無償化ではなく、生活に困っている家庭には支援することは当然と思うが。

答弁 無償化は中学まで。湯沢町として第2子以降の給食費の無償化に踏み込んだ。来年度予算に計上予定。

「優しい福祉サービス」とは

質問 「老後に必要とされる福祉サービスを、町内で受けられるための環境づくりに力を注ぐ」とあるが、老後に必要とされる具体的な福祉サービスとは。

福祉とは、高齢者だけでなく若年障がい者等もいるが。

答弁 高齢化に対応した病院買入物等を結ぶ交通便利性の向上や介護サービス。

「若者が帰ってきたくなるまちづくり」とは

質問 「働く場のための企業誘致、子育てしやすい環境づくりのために、町の総力で取り組む」というが、企業誘致が簡単にできるのか。

どんな企業誘致なのか。

答弁 湯沢町では、希望を叶える働く場が少ない。新型コロナウイルス禍での地方分散化の流れをチャンスととらえ、取り組みを進める。

「町民が安心できる防災、減災」とは

質問 地域の安全を守る、消防団への支援拡充とは。

答弁 装備品等の拡充、近隣自治体の動向を確認しての団員の処遇改善等。



湯沢町役場

Q 雪国であり、自然に囲まれている湯沢町なのだから、湯沢独自の教育を行ったらよいのではないかと

わた なべ ち え (文責)
渡 辺 千 恵



A 教育内容は国が定めた基準で学習要綱に基づいて行っている

質問

9月議会でも、教育長に中学校でのクロカン授業の継続の質問をし、「継続しない」という返答であった。スキーの町湯沢なのに、どんなスキー授業が減っている。また、同じように自然に囲まれている湯沢町なのに、山に登ることも小学生5、6年だけになってしまった。本当に残念である。

先生方の負担が大きいうる答弁もあったが、地域の方も協力できるはず。机の前だけの勉強が教育ではないと考える。

野沢温泉村はスキー文化を継承し、世界で戦う選手を育てるため、また外国からのお客さまを受け入れるために、学校独自のカリキュラムを作り、スキーと英語教育に力をいれている。

湯沢町も、湯沢だからこそできる教育、子どもの頃に自然の中でさまざまな経験をし、体力作り、この町を誇



クロスカントリーの練習風景

れるよう、また自分の子どもや他県の方にも伝えられるような、独自の教育をうたい続けていくべきではないか。

答弁

子どもの人数も少なくなり、教員の人数も減っていて負担が大きい。

湯沢学園では「大好き湯沢」を活用し、湯沢の文化、自然を学習している。また、多様な価値観があるので、学校が決めた教育課程で進む予定。

しかし、野沢温泉村がどんな独自の教育カリキュラムを行っているか調べてみる。

Q

介護職員、保育士不足について今後考えていることはあるか

A 環境づくり、その他支援について今後とも考えていく

質問

湯沢町出身の子どもの中にも、介護士や保育士の学校へ行っている方もいる。しかし、湯沢町には戻ってこないのが現状。

学ぶための奨学金の工夫など、Uターン促進にもつながることなので、もっと力を入れるべきではないか。

答弁

介護士については現在、研修費の負担を行っている。今年度から湯沢町の介

護の仕事に携わる方に、20万円の支給を予定している。湯沢町社会福祉協議会と連携し、これからも考えていく。

また保育士については、湯沢町には認定こども園が一つしかない。環境整備、募集人数増や専門学校へのアプローチについても力を入れていく。また奨学金についても、今後考えていく。

町の情報提供

質問

町の取り組みや助成などの情報を、病院や共同浴場の待合室などにデジタルサイネージを導入して情報発信したらいかがか。

答弁

どのような発信方法がいいのか、今後考えていく。



Q 町の観光・文化・スポーツの連携方針は

たか なみ だい ご
高 波 大 吾 (文責)



A 適切に進めていく

質問 4月に県の県民生活・環境部と観光局、教育委員会の担当部署が再編され、環境局と観光文化スポーツ部が発足予定だが、町の観光・文化・スポーツの連携方針は。

答弁 今は新しい計画の策定や条例改正等の予定はない。文化と観光をつなげていきたいとは考えている。

サイクルルート事業や大型スポーツイベントには好影響が期待できる。

質問 既存施設の活用や見直しは。

答弁 歴史や伝統は観光の動機付けになる。美術館と雪国館はその拠点。今後も各メディアを活用し、PRしていく。公開する場所や、バリアフリー化もしっかりと考えていきたい。

質問 フジロックの町であることを通年でPRできないか。

答弁 主催者があるイベントなので町だけでは難しいが、そういった話があれば聞いていきたい。

山岳観光の方針を問う

質問 国立公園を構成する自治体として、山岳観光の方針を問う。

答弁 登山はスキーと併せて湯沢町を象徴する観光資源。設備の維持管理に、年間およそ500万円を計上している。

宿泊や消費に繋がっていないのが課題で、消費額向上の

取り組みに期待。

質問 自然観察、環境教育などの拠点となるビジ

ターセンターの構想はあるか。

答弁 現状では町で取り組む予定はない。DMOの進めているガイド組織の拠点としては、町有施設の空きスペースの活用なども検討。

新しい主水公園の整備計画は

質問 主水公園を観光公園として整備することで、湯沢町のパブリックイメージの向上が図れる。綺麗な新雪に安全に触れることができ、

地下道から屋根を伸ばせば濡れずに雪景色の撮影が可能など、定番スポットになり得る。サイクルルートへの乗り換え拠点としても期待できる。小学校の跡地で思い入れの

ある人も多い。地名にも歴史がある。国内・海外から来たお客さまに、良い印象を持っていた公園にしてほしい。

答弁 費用対効果から実現は難しい。そこまでのことは求められていないと思う。

質問 駅から近い高台であり、夜景なども望める旧城

平スキー場跡地の活用方針が現マスタープランにないが、

質問 登山口へ至る町道や駐車場・水場・トイレなどの整備は、町の責任ではないのか。

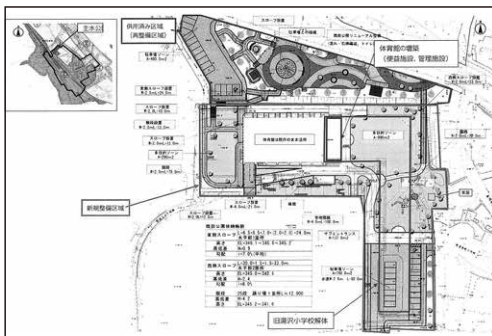
答弁 担当人員や予算に限りがあり、利用者の多いところを優先している。

財政健全化の視点から全てを進めるのは厳しいが、林道・トイレ・駐車場の拡幅などは前向きに考える。

平標駐車場の冬季除雪に予算をつけるなど、できることは取り組んでいきたい。

どうなっているか。

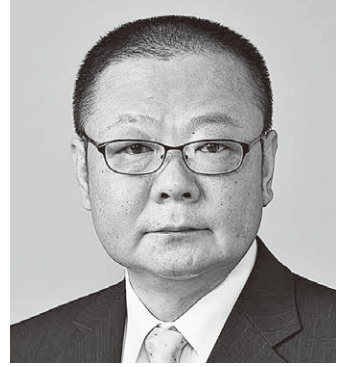
答弁 現在活用の方針はない。



都市再生整備計画における主水公園の計画図

Q 空き家対策について 町としての今後の対策は

和田 一郎 (文責)



A 体制を整えたなかで、どのような形で 取り組んでいくのか考えていく

質問 人口減少や高齢化の進展により、全国的に空き家・廃屋の増加が問題となっているが、湯沢町としてはどういった対策を考えているのか。

答弁 観光の町湯沢にとって重要な課題ではあるが、所有者がいるため簡単ではないことをご理解いただきたい。

現在、空き家等が周囲に危険を及ぼす可能性があるとの情報が町に寄せられた場合、所有者に連絡して除雪等の対応をしていただいている。

空き家でも所有者はおり、適正に管理する義務は所有者にあるので、基本的には町が除雪等を行うことはない。

質問 現実として、風でトン屋根等が飛んでくるなどの可能性も考えられる。

答弁 管理不全の状態にある空き家の所有者に対しては、条例に基づき実態調査を行ったうえで助言や指導を行い、改善されない場合は勧告や命令を行う。
公益に反すると認められる

ときには議会の議決を経て代執行を行うこととなるが、その際の費用を所有者に請求しても回収できない可能性がある。

トイレ付きの通学バスを 導入できないか

質問 子どもたちが安心して通学できるように、トイレ付きの通学バスを導入してはどうか。

答弁 こども園では、三国・三俣方面の園バスにアコーディオンカーテンで目隠しをしたトイレを設置しているが、過去に使用したという記録は残っていない。

児童生徒及び保護者からそのような要望もないことから、今のところは必要ないと考えている。

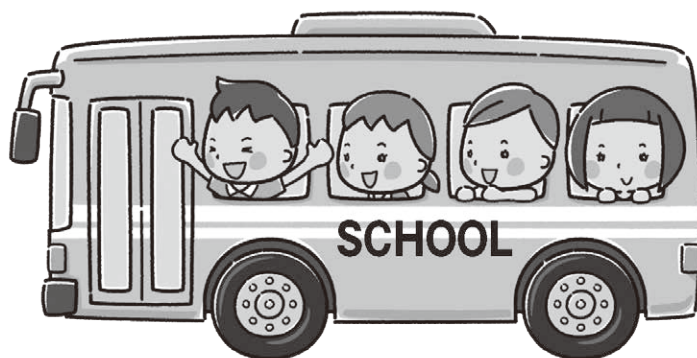
質問 途中で用を足したいときに停まってほしいというのはいづらいいし、万一漏らしてしまったときはいじめにつながる可能性も考

今後もしっかりとした体制をとり、町民や来訪者に危険が及ぶことがないよう、どのような形で取り組んでいくのか考えていかないとけない。

えられる。

答弁 現在のチャーターバスには停めてもらえるが、恥ずかしいという理由などもあると思うし、今後についても子どものプライバシー等を考えたうえで、どういう方法がいいのか考えていかないとけない。

今のところは必要ないと考えるが、もう少ししっかりと子どもたちの声や保護者の声を聞いたうえで考えていきたい。





Q 「がんばろう湯沢商品券」事業の評価は

並木利彦 (文責)



A 事業終了後に行いたい

経済対策

消費税が2%上昇。その後の小雪、新型コロナウイルス感染により、湯沢町経済の貧窮が始まった。

観光業者等には一時支援金、月次支援金として、売上が半分となった法人に満額で200万円、個人に満額で100万円の国からの支援があった。観光事業者等には有難い支援となった。ただ、当該事業者でも疲弊している事業者は

多数存在している。

質問 10月に『2021「がんばろう湯沢」商品券』事業が実施された結果として、町が意図していたような経済状況となったのか。事業の成果について、どのように考えているのか。

答弁 商品券は町民一人につき5,000円の配布で、全町民のための事業。プレミアム分は湯沢町の事業者、特に飲食店救済のための事業。平等に支援できたのか。事業の評価は、事業終了後に行いたい。

2021 「がんばろう湯沢」 飲食・宿泊券、共通券

見本 飲食・宿泊券 500円

見本 共通券 500円

取扱店

湯沢町 一般社団法人 湯沢町観光まちづくり機構

親光立町 宣言 湯沢町

君と一緒に暮らす町

質問 10月の臨時議会で、観光町づくり機構の会費を町が負担することとして、貧窮している観光事業者の手助けとなった。

「町づくり機構」の会員以外にも貧窮している町民はい

答弁 経済対策は適切に対応していく。

一般社団法人 湯沢町観光まちづくり機構の収入源は

質問 所信表明での「湯沢町は500万人観光を目指す」。疲弊している湯沢町には大事なこと。観光は町以外の地域からお金が入る。極端に言えば、人口減少でも観光を軸に湯沢町が回ってれば町づくりができる。稼い

この中に「町づくり機構」の財源を見つけることができると思う。町長はどのような考えをお持ちか。

とができる。観光を共に考え、稼いでいく事業者の集団が「観光町づくり機構」。町として、「町づくり機構」が動きやすくするために手助けをしなければならぬ。「町づくり機構」に財源を確保できるように考えなければならぬ。

答弁 慎重に対応していく。

質問 魚野川右岸遊歩道、これからのフッシングパーク周辺の開発について、町長はどうお考えか。

答弁 観光スポットの集積した地域にしたい。

「魚野川周辺の開発」「大源

Q 町長選挙でできた分断を どのように解決していくのか

白井 孝 雄 (文責)



A 力を合わせ、オール湯沢で やっていきたい

質問 公約の中にある「湯沢プライド、湯沢ブランド」をどうやって創っていくのか。

答弁 湯沢の特性と優越性、湯沢の力強さを活かし、自信と誇りの持てる町づくりをしていきたい。

質問 湯沢ブランドを創っていくなかで、既存のものにこだわらずにブランド作りをしては。

答弁 しっかり取り組みをしていきたい。旅行者が、ぜひ行ってみたいと思うものを作っていくこ

とが重要である。

質問 公約のなかにスポーツという言葉が一つもない。スポーツを通じて、ス

答弁 スポーツは健康向上に重要である。湯沢では自然と共にスポーツを行って

きている。スキー、トレッキング、登山、テニス、水泳などである。これからも健康向上に努める。スポーツの重要性は認識している。

Q 旧神立小学校 体育館屋根の修繕は

A 今のところ予定はない

質問 旧神立小学校の体育館屋根の腐食が進んでいる。早々に借りている事業者と協議して、塗装すべきと思うが。

答弁 他の旧小学校とは違い、避難所とはなっていない。借主側から話はないが、必要があれば今後検討する。

質問 旧神立小学校にある、神立の里と水路が荒れ放題になっている。早急な整備をすべきと思うが。

答弁 実態をしっかりと調査ができるのか考えていく。

Q 害獣について 24時間作動するカメラで 実態調査をしては

A しっかり把握に努める

質問 サルに取り付けている発信機の電池切れが心配だが、発信機の取り付け件数はどうなっているのか。

答弁 これまで5群11頭に取り付けているが、なかなかサルも賢く、捕獲が進まず補充が厳しくなっている。

質問 電気柵の取り付け件数はどうなっているのか。年々増えている。11月末現在13件である。



旧神立小学校体育館





Q 「学校給食の無償化」はいつからか

佐藤守正 (文責)



A 来年度予算に盛り込む

質問 町長はこの度の町長選挙の公約に、「第2子以降の給食費を完全無償化する」と掲げた。大歓迎だ。来年度の一般会計予算案に盛り込む予定か。

答弁 また第1子の子どもの給食費についてはどうか。来年度予算に盛り込む。全ての子どもの給食費を無料にすることは、状況を見て判断したい。

質問 同僚議員の中には、「子どもに食事を与え、るのは親としての当然の義務だから、給食費の公費負担は問題だ」という意見の方もおられる。しかし、学校給食は教育の一環だと文科省も言っているし、憲法26条は「義務教育はこれを無償とする」と宣言している。教科書を無償で配布するように、給食費も当然公費でまかなうべきものだ。

答弁 町長には、学校給食は教育の一環として実施されていると言ふことには同意いただけるか。食育は、教育という大きな目的の中の一環として捉えられると思う。

本好きの子どもを育てることに熟達した学校司書を

質問 学校司書を置くという事はすでに法律で努力義務とされ、交付税措置もされている。図書館司書がほしいとは、多くの学園図書ボ

ランティアの要望である。図書室に来る子の数はだんだん減っている。特に中学生の来館は少ないとのことだ。こういう状況を改善するため



湯沢学園 給食風景

中学生代表を 広島原爆平和 式典への派遣を

質問 県内多くの市町村で実施しているのに、非核平和都市宣言をしている湯沢は取り残されている。

3期目を契機に、この事業に踏み出していきたい。

答弁 湯沢中学校の全生徒を対象に、3年に一度の平和教育講演会を実施している。その内容は大変充実しているため、中学生をして平和について考える貴重な体験になっている。従って、広島平和式典への派遣は考えていない。

に、学校司書を置くよう努力していただきたい。

教育長答弁 今の湯沢学園の最大の課題は、児童生徒に一人1台ずつ配付されたPC端末を有効活用することであり、ICT支援員の配置を検討することの方が優先順位が高い。GIGAスクールへの進展に

に伴い、学校司書もICT教育の一翼を担える人材であることが求められる時代になってきている。したがって学校司書の配置については、ICT支援員の配置検討後に、小中学校の希望も確認しながら検討していきたい。

Q ICT教育、戦略的な計画はあるのか

なぐもよしゆき
南雲好幸(文責)



A 学年ごとの成果目標は立てていない

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正

「教育に関する大綱を首長が策定する」
「全ての地方公共団体に総合教育会議を設置する」
地方公共団体として、地域の実情を加味し、教育政策に関する方向性と責任を明確化するために、教育に関する「大綱」を首長が策定する。(平成27年施行)

湯沢町教育に関する大綱

教育基本法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律
適用年度(令和元年度～令和5年度までの5年間)

1 湯沢学園の充実

- (1) 保小中一貫教育(湯沢学園)を充実させ、知育・徳育・体育の向上を図る。特に、全国学力・学習状況調査については全国・県を安定的に上回るようにする。
- (2) コミュニティ・スクール(学校運営協議会)により、学校・家庭・地域・行政が連携して学校を支援する。
- (3) 地域交流センターを拠点として、学園支援ボランティアの活用を図り、学園の諸活動を支援する。
- (4) 豊かな心を育み、いじめを許さない意識を醸成することで、いじめ見逃しゼロを目指す。
- (5) 総合子育て支援センターを拠点として、乳幼児・園児・児童・生徒及びその家庭に対する細やかな支援を行う。
- (6) 姉妹都市との教育交流を通じ、国際社会で活躍できる生徒の育成をめざす。

質問

- (1) 国の進めるパソコンやタブレットを活用したICT教育、期限や成果目標達成の戦略的計画は、構築の費用にも関わる。ICT支援員の活用は、ICT教育上の予算化した支援対策ではないのか。
- (2) 今年度中に家へ持ち帰り、ネットに繋がらない活動を試みる。
- (3) Wi-Fi環境のない家に貸し出すルーターを整備。

長弁 教育 答

- (1) は、教育委員会の希望として、
- (2) 今のサポート体制では不足強化したい。
- (3) 役場に設置のヘルプデスクに依存。授業内容等の活用には、サポートできるICT支援員を検討。
- (4) 来年度中にWi-Fi環境のない家にルーターを無料貸与、通信契約は家庭負担を考案中。理解が得られた後、家庭でドリル学習可能。この手順で進行中。学習の質向上が狙い。学年ごとに目指す目標はない。
- (5) 今度のサポート体制では不足強化したい。
- (6) 役場に設置のヘルプデスクに依存。授業内容等の活用には、サポートできるICT支援員を検討。

Q

保小中一貫教育校として
町民が共有する
キャッチフレーズは見つかったか

A

教育目標の
「人を想い、我を磨く」は
大変素晴らしいキャッチコピー

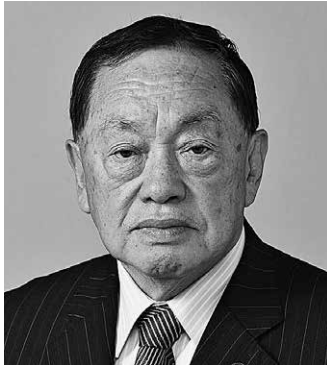
質問

総合教育会議で「大綱」の進捗審議なし。
なお、「大綱」湯沢学園の充実6つの項目には、湯沢らしさや湯沢学園のブランドデザインにある教育目標の要素はない。

さらに、スキーの町と言いつつ、スキー授業が減少。また、町の観光経済の事業継承人材育成が必要。
湯沢学園が子どもの目指す姿として謳っている「湯沢町を誇りに思い、次代を担う、たくましく生きる子ども」の育成に、スキーの要素は必要のはいない。
授業はなごころのいっしょ。

答弁

- (1) 目標に掲げながら学習しないで良いのか。
- (2) 教育目標を学年の段階に応じた学習を行うよう、要請いただきたい。
- (3) 思いやり・学力・体力・スキー・文化・歴史の要素を包含したキャッチフレーズ「生徒全員スキーが滑れ、雪国文化を英語で紹介できる町」を候補の一つに。
- (4) 事であり、学校にお願いしていく。
- (5) (3)については、現在の教育目標を前面に出し、子どもたちをはじめ、多くの方に理解してもらおうよう取り組む。



Q 地方創生臨時交付金活用による 観光経済の復興、復旧対策を & 南 雲 正 (文責)



A 今後の感染状況を踏まえて、 経済対策について適切に対応する

質問 猛威を振るった新型コロナウイルス
第5波もほぼ収束傾向にあり
ながら第6波の襲来が懸念さ
れるが、観光の町湯沢にとつ
て観光経済の復活、復興が喫
緊の課題である。

国もポスト新型コロナウイルス
を見据えて、経済対策を
盛り込んだ過去最大の補正予
算を決定し、地方創生臨時交
付金も6兆5,000億円が
増額交付されることとなる。

この地方創生臨時交付金を
有効活用して、湯沢町の経済
生活の復興、観光経済の早期
回復を図り、新型コロナウイルス
禍前の町の賑わいを取り
戻し、町民に日常の生活に戻
れる環境の整備に早急に取り
組む必要があると思うが、新
たな対策を問う。

答弁 冷え込んだ町内経済の
復興が最大の課題であ
り、昨年来、さまざまな経済
対策を実施してきた経験と今
後の感染状況を踏まえて、経
済対策について適切な対応を
したい。

Q スキーの町湯沢として 湯沢学園にクロスカントリー スキーの復活を

A 教育課程を編成する主体は学校に あり、学校の決定を支持したい

質問 アルペンスキーは、ス
キーの町湯沢のシンボ
ルとして発展し、手厚い指導
体制が確立されている。

しかしながら、クロスカン
トリースキーは底辺を支える
湯沢学園のスキー授業からも
姿を消し、歴史を重ねたクロ
スカントリースキー部もなく
なり、スキーの町湯沢にとつ
て由々しき事態が生じている。
湯沢学園におけるクロスカ
ントリースキーのできない理
由の説明がなされているが、
あらゆる手法を探り、スキー
の町湯沢にクロスカントリー
スキーを復活し、アルペンス
キーと並行して、スキーの聖
地としての地位を築くことも
スキー観光の進展のために必
要なことと思うが、町長のス
キー振興に対する見解を伺う。

答弁 具体的な教育内容にか
かわる教育課程を編成
する主体は、学校にあると聞
いている。
学校の判断を尊重して、町

答弁 教育行政に対して、総
合教育会議の場を通じ
て民意の反映に努めたい。

質問 法律の改正により総合
教育会議が設置され、
町長と教育委員会という対等
な執行機関同士の協議、調整
の場が設けられている。
この会議で民意が反映され
ることとなるわけであるが、
町長の認識は。

長としてこれを支持したい。



NPO湯沢スポーツアクティブの指導を受け、クロスカントリーの練習に参加する小学生 (湯沢学園グラウンド)

議員全員協議会

10月20日(水)

総務部

旧布場スキー場 雪崩対策

令和元年度の台風19号で崩落した箇所の対策として行った地形の測量及びボーリング調査の結果に基づいて検討し、斜面の補強を行う。

雪崩対策として2か所に雪崩予防柵を設置する。2か年事業の予定。

その他

(一社)湯沢町観光街づくり機構からの要望

事務局から概要説明。

秋田県湯沢市との交流

令和4年度に、総文・生福での合同視察研修会を検討。

12月23日(木) (定例会閉会后) 速報

子育て教育部

令和3年度全国標準学力検査

(NRT)の結果

NRTとは全国平均を50として、自校の学力がどの程度高いか、あるいは低いかを判断する検査。

令和4年度認定こども園及び児童クラブ入所児童数増加対応

児童クラブ・子育て支援センター施設新規建築費、現子育て支援課施設のこども園改修費について説明。

新規施設の建築スケジュールは、

令和4年4月中旬頃に建設業者を決定し、令和5年4月から業務開始の予定。

総務部

湯沢版Maas実証運行の結果報告

新潟県が人や企業を呼び込むための策として、地域活性化リーダーインプロジェクトを立ち上げ、湯沢町において交通環境整備実証運行「湯沢Maas」の取り組みを実施した。

税務町民部

国民健康保険傷病手当の延長

会計室

基金の一括運営

湯沢町には11の基金があり、それぞれの基金を複数の金融機関の口座で管理している。一括運営とすることで事務の効率化を図り、資金需要にも柔軟に対応できるようにする。

閉会中の常任委員会調査

総務文教常任委員会

10月18日(月) 第7回

委員長の互選

指名推薦により、宮田眞理子委員を委員長に選任。

議会運営委員会委員の選任

宮田眞理子委員長を選任。

議会選出に係る各種委員会等委員の選任

- ・南魚沼地域広域計画協議会委員
 - ・南魚沼市消防審議会委員
 - ・各委員に宮田眞理子委員を選任。
 - ・湯沢町青少年問題協議会委員
- 佐藤守正委員を選任。

11月17日(水) 第8回

新型コロナウイルスデルタ株ほか、湯沢学園のまん延防止対策

学園では基本的な感染症対策を徹底している。こども園でも感染リスクの高い際には、保護者も玄関先で園児受け渡しを実施。

子育て世帯の貧困と奨学金の現状

令和2年度は小中学校諸費の滞納

はない。保育料、給食費も滞納なし。令和2年度末の奨学金貸付残高は1億4,997万円。

国際交流事業の今後

国内においても第6波が危惧される。令和4年度も厳しい状況。

新型コロナウイルス禍での公民館・雪国館の利用状況

公民館の利用者は持ち直してきている。雪国館はこれから期待したい。

誘致企業の開業へ向けての進捗状況

誘致企業の割野きのご組合は、資材高騰や納期遅延により、工事は遅れ気味。



割野きのご組合

生活福祉常任委員会

11月16日(火) 第7回

マイナンバーカードの普及状況

9月1日現在の交付枚数は3,565枚。今後は事業所等へ出張申請受付を計画。

新型コロナウイルス感染症による町税収入への影響

固定資産税の軽減措置、国保税の減免等、令和2年度と比較した町税の調定及び収入の説明。

新型コロナウイルスワクチンの接種状況

11月1日時点の接種状況は、全体で85.6%が2回接種済み。未接種者へは広報での周知と個別の案内で対応する。国からは3回目接種の正式通知はまだ。

湯沢病院の運営状況

前年度は患者数減少。地域包括ケア病床への転換により大きな減収とはならなかった。今年度は回復傾向。

ファミリー健康プラン推進委員会の活動状況

「あいさつ条例」は、さまざまな意見があり再度検討する。

産業建設常任委員会

11月30日(火) 第9回

観光客の入込状況と町経済状況

4月から9月の主要観光施設と宿泊の状況は、令和元年度73万4,260人、令和3年度65万2,750人と復調の兆しが見える。
宿泊・飲食等も回復傾向。年末年始の予約状況も順調な動きあり。

マスどまり遊歩道整備と大源太湖周辺整備

遊歩道の整備ではモミジ・桜等の植栽を計画。大源太排水トンネルを観光目的に利用するため、年明けに国・町で文書を作成し、安全管理を図り利用する。

農産物の作柄状況と鳥獣被害

作柄は天候不順のため不良。熊の出没が少なくない。イノシシ、ニホンジカ、アオサギの被害報告。

県道改良事業(湯沢温泉線・越後湯沢停車場線・岩原線)

右記以外に越後中里停車場線、神立湯沢線交差点改良、万条新田越後中里停車場線、県道湯沢温泉線湯元交差点改良等について説明。

令和3年度建設課事業の進捗状況

道路橋梁維持管理3件、消雪パイプリフレッシュ事業3件、公園施設長寿命化支援事業1件、公共土木災害復旧1件の説明。

令和2年度冬期除雪実績と令和3年度冬期除雪事業

令和2年度の町道除雪費は多め、消雪電気料は例年並み。
今年度も除雪体制は前年並み。

令和3年度上下水道課事業の進捗状況

土樽松川処理区は令和7年繋ぎ込み予定。水道施設台帳整備が期限を迎えるため委託した。

議会活動日誌

10月8日 議会広報常任委員会

9日 湯沢学園体育祭

15日 議会運営委員会／議会広報常任委員会

第30回湯沢町高齢者福祉大会

18日 総務文教常任委員会

第6回臨時会／第13回議員全員協議会

21日 議会広報常任委員会

第2回魚沼地域特別養護老人ホーム組合議会(八色園)

22日 町村議会議員後期研修会(新潟市)

28日 魚沼地域特別養護老人ホーム組合 監査

11月2日 新潟県町村自治に関する研修会(朱鷺メッセ) 町村長と町村議長との意見交換会(新潟市)

6日 湯沢町教育フェスティバル

15日 湯沢学園授業視察

16日 生活福祉常任委員会

17日 総務文教常任委員会

20日 令和2年度湯沢町成人式

22日 新潟県後期高齢者医療広域連合議会議員事業説明会(新潟県自治会館)

25日 一般国道353号十二峠新トンネル開削期成同盟会総会(十日町市)

25日 青少年問題協議会

26日・27日 第65回町村議会議長全国大会及び令和3年度町村議会議長全国研修会・実行運動・議長協議会(明治記念館 他)

29日 魚沼地域特別養護老人ホーム組合 監査(八色園)

30日 産業建設常任委員会

12月1日 新任議員打合せ

6日 総務文教常任委員会イルフ童画館視察(長野県岡谷市)

10日 議会運営委員会／議会広報常任委員会

14日・23日 第7回定例会

23日 第14回議員全員協議会

27日 新潟県町村議会議長会(新潟県自治会館)

魚沼地域特別養護老人ホーム組合 監査(八色園)



湯沢町議会議員による ホームページをご覧ください



<https://yuzawamachi-gikai.com/>

- 各議員による情報発信の活性化を図ります。
- 各議員の情報を掲載し、各議員の情報媒体へリンクする計画です。
- 町への要望・ご意見をうけたまわります。
- 議会の月間スケジュールを掲載する予定です。
- 簡易Webアンケートが実施できるよう検討中です。

第65回町村議会議長会 全国大会が開催されました

令和3年11月26日、内閣総理大臣をはじめ関係する各大臣等を来賓として招き、全国町村議会議長全国大会が開催されました。

会長を務める南雲議長は主催者代表として挨拶し、「感染症対策の強化と地域経済対策強化の実現、深刻化している地方議会議員のなり手不足問題に対して、多様な人材が議会に参画するための環境整備」等について、来賓各位の協力を求めました。



新人議員紹介 高波大吾



令和3年11月29日に議員の一人になりました高波大吾と申します。ここでは自己紹介と私の所信を述べさせていただきます。

私は1983年まれの38歳です。10代の頃は湯沢町で育ち、20代の一時期県外に住んでおりました。30代近くになって町に戻り、主に観光関連の仕事についておりました。私の家は祖父・吾策の代に土樽に移住し、山とスキーが生業でした。私の生まれた頃に上越新幹線や関越自動車道ができて、町並みが大きく変わりました。

任期中は主に湯沢町の歴史や文化を発信する施策を目指して活動を行うつもりです。文化は観光とスポーツに並ぶ湯沢町の第三の柱となり得るものです。埋蔵文化財に始まり、町内の寺社仏閣、山岳修験道、三国峠、三国街道の出来事や近代のインフラにまつわる物語など、まずは町民の皆さまが湯沢とはどんな町であるのか、誰もが語れるようになることが大事であると考えています。皆さまが積極的に町の魅力を語るからこそ文化の醸成につながり、それこそが最も大きな観光資源であろうというのが私の思うところです。どうぞよろしくお願ひ致します。

※総務文教常任委員会と生活福祉常任委員会を務めます

編集後記

昨年は新型コロナウイルスの影響で観光のお客さまが激減してしまいましたが、この冬は少しずつお客さまも戻り、賑やかになってきました。新たなオミクロン株が流行し始めましたが、これ以上の感染が増えないことを願うばかりです。

年末年始の大雪により、温泉街の道路は大変な状況となりました。これについては、県にしっかりと対応を要望していかねばなりません。

さて、今までも皆さまに「議会」の様子が伝わるよう編集してきましたが、新しいメンバー加入で今以上に議会活動が伝わり、一人でも多くの皆さまに読んでいただけるよう頑張っていきたいと考えています。皆様からのご意見賜れば幸いです。

編集委員 渡辺 千恵

議会広報常任委員会

委員長	南雲 好幸
副委員長	並木 利彦
委員	高波 大吾
	渡辺 千恵
	和田 一郎
	高橋 政喜